

特別な支援を必要とする 子どもたちへの理解と支援

徳島県教育委員会

～小学生の保護者のみなさまへ～

徳島県では、特別支援教育の充実に向けた取組を進めています。

特別支援教育とは、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばすことをめざした教育です。

子どもたちには、それぞれ違った個性があり、成長の様子もみんな違います。仲間とともに、いきいきと学校生活を送ることができるよう、必要な支援や一人ひとりに応じた教育を行います。

保護者のみなさまのご理解とご協力をお願いします。



友だち関係のことで

- 友だちとのトラブルが多いのだけど…

相手の気持ちに
気づきにくいのかな。

- 順番が待てないのだけど…

遊びのルールが
分からないのかな。

生活のことで

- おなじことを何度注意しても分かっていないみたい。
- ある考えや行動に強くこだわって生活がスムーズにいかないことがある。
- 思ったことを場を考えずに、すぐに言ってしまう。

気になることは
ありませんか？



学習のことで

- 絵本の文字や数字に興味がないみたい。
- 他のことに気がちりやすく、一つのことを最後までできないことがよくあるのだけど…
- 簡単なことでも、言っただけではよく分かっていないみたい。

子どもの様子を
いろいろな角度から
とらえてみましょう



子どもへの接し方

子どもの得意なこと、苦手なことを理解しましょう。

- 子どもには、一人ひとり違った個性があります。だれにでも、苦手なことや不得意なことがあるのが当たり前というように受け止め、その子なりのがんばりを認め、励まし、自信を持つことができるようにしましょう。
- できないことを責めるのではなく、どうしたらできるようになるかをいっしょに考えましょう。本人の努力だけでは、改善しないこともあります。支援が必要な場合は、学校とよく相談し、子どもにとってよりよい方法を考えましょう。
- 学習上のつまずきや生活面での困難さは、成長の途中で現れることもありますが、小さい頃から継続的な場合は、発達障害による困難さが背景にあることも考えられます。気になることがあるときは、学校に相談してください。



学校とのかかわり方

子どもをよりよく伸ばしていくために共通理解を図りましょう。

- 学校での様子をよく知るため、授業参観や学校の行事にはできるだけ参加し、集団のなかでの子どもの様子を見るようにしましょう。
- 個人面談など担任と話す機会には、気がかりなことなど遠慮なく相談しましょう。
- 家庭での様子と違う話題が出たら、くわしく聞くようにしましょう。

学校までご相談ください

- 「特別支援教育コーディネーター」※1を中心に、学校全体で特別支援教育に取り組んでいます。
- 必要に応じて「個別の指導計画」※2を作成し、きめ細かな支援を行います。
- 「特別支援教育巡回相談員」が教育相談に応じることもできます。



※1 保護者の相談窓口、関係機関との連絡調整、校内での特別支援教育の推進役としての役割を担う教員。

※2 一人ひとりの学習や生活に応じた目標、内容、指導方法などを盛り込んだ計画。



徳島県教育委員会 特別支援教育課
TEL 088-621-3142
徳島県総合教育センター 特別支援・相談課
TEL 088-672-5200



このリーフレットは、文部科学省「発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業」により作成しました。